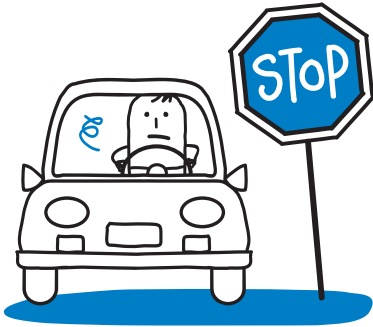


運転について

DRIVING



なぜこうになってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人は以下の理由により危険が伴います：

- 道路標識に従わない。
- 運転速度が早すぎる、または遅すぎる。
- 同乗者や他の運転者に対し怒る。
- 縁石にぶつかる。
- 車線をまたぐ。
- ブレーキとアクセルを間違える。
- 行き先を忘れる。
- 知っている場所に行くのに迷う。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADP10049)



時間の経過とともに、アルツハイマー病や認知症の人は運転が難しくなっていきます。いずれは運転を辞める必要がありますが、これはとても大変なことです。本人や家族は自由を奪われると感じるかもしれませんが、一番大切なことは安全であることです。

あなたにできることは？

目を配り注意深く観察する

- 駐車違反や交通違反のチケットを切られていないか気を付ける。
- 車に新しい傷跡、へこみなどがいないか探す。
- 他の運転者に対する不満や車に関する文句などに耳を傾ける。

運転をやめさせる

- 医師から本人に、もう運転はできないと伝えてもらう。
- 医師に、認知症の診断をDMV（車両管理局）へ届け出してもらう。
- 親しい友人、牧師、神父、先生などから運転をやめるよう言ってもらおう。
- お店や予約のある場所まで誰かが連れて行ってくれると伝える。
- 第三者へ助けを求める……食事の配達、処方せん薬の受け取り、また自宅に訪ねてもらおう。

工夫を凝らす

- 鍵を隠す。
- 車を見えないところに駐車する。
- 車のバッテリーやスターターワイヤーを取り外す。
- 車は修理に出してあると伝える。
- あなたが運転席に乗り、運転手となる。
- 車の鍵に似ているがエンジンをかけられない、別の鍵を渡す。
- 他の人に運転してもらおうことが楽しそうだと思うせる。

最後に

- 車を売る……ガソリン代、保険代、修理代を浮かし、その分をタクシーやUber、LYFT、他の人に送迎をお願いするために使う。